

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年11月14日

【四半期会計期間】 第49期第2四半期(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

【会社名】 パウダーテック株式会社

【英訳名】 Powdertech Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 隅 田 洋

【本店の所在の場所】 千葉県柏市十余二217番地

【電話番号】 04-7145-5751(代)

【事務連絡者氏名】 常務取締役経営管理部長 徳 重 秀 人

【最寄りの連絡場所】 千葉県柏市十余二217番地

【電話番号】 04-7145-5751(代)

【事務連絡者氏名】 常務取締役経営管理部長 徳 重 秀 人

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第48期 第2四半期連結 累計期間	第49期 第2四半期連結 累計期間	第48期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高 (千円)	4,614,882	4,835,707	9,315,510
経常利益 (千円)	635,016	572,484	1,223,102
四半期(当期)純利益 (千円)	381,716	347,114	713,144
四半期包括利益 又は包括利益 (千円)	394,802	331,726	729,433
純資産額 (千円)	6,905,496	7,393,551	7,239,896
総資産額 (千円)	10,260,688	11,168,260	10,258,695
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	25.75	23.41	48.10
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	67.3	66.2	70.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	704,435	571,882	1,321,759
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	224,388	130,198	651,950
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	227,348	205,475	337,324
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	1,466,190	1,792,605	1,552,191

回次	第48期 第2四半期連結 会計期間	第49期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日
1株当たり 四半期純利益金額 (円)	12.49	13.08

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」の内容に重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、欧州では足踏み状態が継続したものの、米国では引き続き堅調な回復が続き、新興国でも国による差はあるものの緩やかな成長が続いており、総じて回復傾向で推移しました。国内では、消費税率引き上げによる影響が有りましたが、政府の経済対策などを背景に雇用環境などが底堅く推移、景気は緩やかな持ち直しの傾向が続きました。

このような経済環境のなか、電子写真用キャリアが使用されるオフィス用複写機・プリンターや商業用印刷機の市場環境は堅調な回復傾向を示しました。

脱酸素剤が使用される食品業界は、消費者の安全・安心志向への要求が引き続き底堅いこともあり、堅調に推移いたしました。鉄粉の主要用途であるカイロにつきましては在庫調整等により前年同期を下回る生産となりました。

これらの市場環境下、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比4.8%増加の4,835百万円となりました。

損益面では、主にキャリア事業の減益により、営業利益は559百万円（前年同期比11.3%減）、経常利益は572百万円（前年同期比9.8%減）、四半期純利益は347百万円（前年同期比9.1%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### キャリア事業

当セグメントにおきましては、堅調な需要の増加により、売上高は3,629百万円（前年同期比6.8%増）となりました。セグメント利益は、増販とコスト削減の成果はありましたが、新品種の生産定常化に伴う棚卸資産圧縮による売上原価上昇が影響し683百万円（前年同期比11.3%減）となりました。

#### 鉄粉事業

当セグメントにおきましては、脱酸素剤関連製品は前年同期を上回る販売となりましたが、カイロ用鉄粉の販売減により、売上高は1,206百万円（前年同期比1.0%減）となりました。セグメント利益は、脱酸素剤関連製品の増販とカイロ用鉄粉の販売価格改定により54百万円（前年同期比48.5%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ、棚卸資産は減少しましたが、受取手形及び売掛金、預け金の増加により、164百万円増加いたしました。固定資産は、キャリア製品製造設備等の設備投資を行いましたので、745百万円増加いたしました。以上により、総資産は909百万円増加し11,168百万円となりました。

負債は、主に未払金が増加しましたので、755百万円増加し3,774百万円となりました。借入金は前連結会計年度末と同額の294百万円となっております。

純資産は、153百万円増加し7,393百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ4.4%減少し66.2%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が544百万円となり、減価償却費が290百万円、売上債権の増加で94百万円のキャッシュ減少、たな卸資産の減少で146百万円のキャッシュ増加、仕入債務の減少で55百万円のキャッシュ減少、法人税等の支払で309百万円のキャッシュ減少等により、571百万円のキャッシュの増加（前年同期比132百万円キャッシュ増）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主にキャリア製品製造設備等の設備投資に130百万円を支出したことにより、130百万円のキャッシュの減少（前年同期比94百万円キャッシュ増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、ファイナンス・リース債務の返済による支出27百万円、配当金の支払177百万円等を行い、205百万円のキャッシュの減少（前年同期比21百万円キャッシュ増）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前年同期比326百万円増加し1,792百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は199,111千円であります。なお、研究開発活動の状況について重要な変更はありません。

(6) 経営者の問題意識と今後の方針について

当社グループの経営陣は、現在の事業環境および入手可能な情報に基づき、最善の経営方針を立案するよう努めております。事業環境の変化に対応すべく経営戦略を明確にし、掲げた課題と施策を確実に実行してまいります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,000,000
計	36,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,850,000	14,850,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は1,000株であります。
計	14,850,000	14,850,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年9月30日		14,850,000		1,557,000		1,566,000

## (6) 【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社南悠商社	東京都港区虎ノ門4 - 1 - 35	5,473	36.85
三井金属鉱業株式会社	東京都品川区大崎1 - 11 - 1	5,131	34.55
株式会社常陽銀行	茨城県水戸市南町2 - 5 - 5	660	4.44
パウダーテック従業員持株会	千葉県柏市十余二217番地	437	2.94
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD - HONG KONG PRIVATE BANKING DIVISION-CLIENT ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京支 店)	LEVEL 13 HSBC MAIN BUILDING 1 QUEEN'S ROAD CENTRAL HONG KONG  (東京都中央区日本橋3 - 11 - 1)	245	1.64
三井生命保険株式会社	東京都千代田区大手町2 - 1 - 1	206	1.38
株式会社千葉興業銀行	千葉県千葉市美浜区幸町2 - 1 - 2	165	1.11
新沢 正治	茨城県高萩市	106	0.71
丸田 稔	長野県上伊那郡箕輪町	84	0.56
松浦 行子	東京都中央区	74	0.49
計		12,582	84.73

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 25,000		単元株式数1,000株
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,784,000	14,784	同上
単元未満株式	普通株式 41,000		
発行済株式総数	14,850,000		
総株主の議決権		14,784	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式202株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) パウダーテック株式会社	千葉県柏市十余二217番地	25,000		25,000	0.16
計		25,000		25,000	0.16

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	277,636	273,316
受取手形及び売掛金	1 1,073,837	1 1,167,155
商品及び製品	1,133,932	1,110,764
仕掛品	873,814	734,278
原材料及び貯蔵品	367,442	378,277
繰延税金資産	132,122	129,893
預け金	1,274,555	1,519,289
その他	34,653	19,361
貸倒引当金	700	798
流動資産合計	5,167,293	5,331,538
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	3,655,397	3,699,661
減価償却累計額	2,455,642	2,489,972
建物及び構築物(純額)	1,199,755	1,209,689
機械装置及び運搬具	2 6,839,478	2 7,024,679
減価償却累計額	5,583,858	5,774,519
機械装置及び運搬具(純額)	1,255,620	1,250,160
土地	1,860,198	1,860,198
リース資産	1,443,767	1,305,346
減価償却累計額	1,199,533	1,107,605
リース資産(純額)	244,234	197,740
建設仮勘定	252,776	1,042,071
その他	427,517	439,069
減価償却累計額	360,316	373,422
その他(純額)	67,201	65,647
有形固定資産合計	4,879,786	5,625,508
<b>無形固定資産</b>		
その他	1,865	1,865
無形固定資産合計	1,865	1,865
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	17,612	18,058
繰延税金資産	161,435	161,229
その他	35,903	35,260
貸倒引当金	5,199	5,199
投資その他の資産合計	209,750	209,347
固定資産合計	5,091,401	5,836,721
資産合計	10,258,695	11,168,260

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	822,394	912,937
1年内返済予定の長期借入金	98,000	98,000
リース債務	50,191	46,495
未払金	512,656	1,305,268
未払法人税等	317,965	202,744
未払事業所税	17,311	9,800
未払消費税等	4,181	32,488
賞与引当金	177,424	200,279
役員賞与引当金	28,000	-
その他	143,226	151,424
<b>流動負債合計</b>	<b>2,171,351</b>	<b>2,959,436</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	196,000	196,000
リース債務	196,549	153,554
長期未払金	20,946	20,946
環境対策引当金	5,900	5,037
退職給付に係る負債	428,052	439,733
<b>固定負債合計</b>	<b>847,447</b>	<b>815,272</b>
<b>負債合計</b>	<b>3,018,799</b>	<b>3,774,708</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,557,000	1,557,000
資本剰余金	1,566,000	1,566,000
利益剰余金	4,121,771	4,290,982
自己株式	6,748	6,916
<b>株主資本合計</b>	<b>7,238,022</b>	<b>7,407,065</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	1,207	1,496
為替換算調整勘定	665	15,010
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>1,873</b>	<b>13,514</b>
<b>純資産合計</b>	<b>7,239,896</b>	<b>7,393,551</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>10,258,695</b>	<b>11,168,260</b>

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,614,882	4,835,707
売上原価	3,372,272	3,651,777
売上総利益	1,242,609	1,183,930
販売費及び一般管理費	1 611,115	1 623,952
営業利益	631,493	559,977
営業外収益		
受取利息	3,400	4,374
為替差益	5,787	17,681
その他	5,043	3,230
営業外収益合計	14,230	25,287
営業外費用		
支払利息	438	380
債権売却損	9,628	11,763
その他	640	636
営業外費用合計	10,707	12,780
経常利益	635,016	572,484
特別損失		
固定資産処分損	18,624	28,180
特別損失合計	18,624	28,180
税金等調整前四半期純利益	616,392	544,304
法人税等	234,675	197,189
少数株主損益調整前四半期純利益	381,716	347,114
四半期純利益	381,716	347,114

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	381,716	347,114
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	162	288
為替換算調整勘定	13,248	15,676
その他の包括利益合計	13,085	15,388
四半期包括利益	394,802	331,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	394,802	331,726

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	616,392	544,304
減価償却費	330,065	290,580
貸倒引当金の増減額(は減少)	704	98
賞与引当金の増減額(は減少)	18,894	22,855
役員賞与引当金の増減額(は減少)	22,000	28,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	8,893	-
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	-	11,681
環境対策引当金の増減額(は減少)	-	862
受取利息及び受取配当金	3,454	4,434
支払利息	438	380
為替差損益(は益)	1,619	4,890
固定資産処分損益(は益)	31,141	12,144
売上債権の増減額(は増加)	154,654	94,362
たな卸資産の増減額(は増加)	288,603	146,933
仕入債務の増減額(は減少)	367,553	55,120
未払消費税等の増減額(は減少)	32,994	28,306
長期未払金の増減額(は減少)	14,176	-
その他	4,027	7,355
小計	860,609	876,969
利息及び配当金の受取額	3,454	4,434
利息の支払額	438	380
法人税等の支払額	159,189	309,141
営業活動によるキャッシュ・フロー	704,435	571,882
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	224,388	130,198
投資活動によるキャッシュ・フロー	224,388	130,198
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	78,968	27,404
自己株式の取得による支出	115	168
配当金の支払額	148,264	177,903
財務活動によるキャッシュ・フロー	227,348	205,475
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,461	4,206
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	259,160	240,413
現金及び現金同等物の期首残高	1,207,030	1,552,191
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 1,466,190	1 1,792,605

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	
1	税金費用の計算 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 債権流動化に伴う買戻義務

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
債権流動化に伴う買戻義務	71,628千円	63,899千円

2 過年度における国庫補助金等に係る資産の取得価額の直接圧縮累計額は61,598千円であります。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
販売費	千円	千円
賞与引当金繰入額	13,524	14,500
退職給付費用	3,521	3,623
一般管理費		
賞与引当金繰入額	42,890	40,646
退職給付費用	3,997	9,590
研究開発費	103,463	95,787

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
現金及び預金	333,410千円	273,316千円
預け金	1,132,779	1,519,289
現金及び現金同等物	1,466,190千円	1,792,605千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	148,264	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	177,903	12.00	平成26年3月31日	平成26年6月30日

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	キャリア 事業	鉄粉事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	3,397,183	1,217,698	4,614,882		4,614,882
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	3,397,183	1,217,698	4,614,882		4,614,882
セグメント利益	770,331	36,496	806,827	175,334	631,493

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額 175,334千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 174,501千円及び棚卸資産の調整額 833千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	キャリア 事業	鉄粉事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	3,629,638	1,206,069	4,835,707		4,835,707
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	3,629,638	1,206,069	4,835,707		4,835,707
セグメント利益	683,287	54,189	737,476	177,499	559,977

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額 177,499千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 175,707千円及び棚卸資産の調整額 1,792千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	25.75	23.41
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	381,716	347,114
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	381,716	347,114
普通株式の期中平均株式数(株)	14,826,254	14,824,899

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月14日

パウダーテック株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中 井 修 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 戸 谷 且 典 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているパウダーテック株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、パウダーテック株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。